



並木街道守るボランティアの会

郷土の宝「並木街道」を

きれいにする元気活動

豊後街道の中の大津街道の一部、約2km、1ヘクタールにわたって、清掃・草刈・補植など並木の保護と景観美化に取り組んでいます。この沿道には、加藤清正の時代から植え継がれている並木杉と細川藩預けとなった赤穂浪士が贈ったハゼの木が平行して植わっています。この貴重なハゼの木が枯れたり、ツタなどが絡まって弱っているのを目にして、当会を立ち上げました。

活動目的は、遺跡並木街道の「景観美化」に務めること、そして街道の緑を豊かにすること、で「森の都熊本の魅力アップ」を図ること、さらに街道の緑化で車両の排気ガス吸収やヒートアイランド防止、雨水の地下浸透帯の確保など、「地球温暖化防止」の一助とすることです。現在は地元住民約45名で活動しており、保護・育成並木は400本以上、アジサイ20株以上を植えています。



今年は「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞者に選ばれ、活動を支えて下さる皆様に感謝するとともに、今後も活動を継続するべく近隣の小学校での講演などにも力を入れたいと考えています。

(代表・黒木嘉次郎)